



# 2014 年度第 3 四半期決算報告書

## 参考和訳

プレスリリース  
2014 年 10 月 31 日、パリ発

当四半期に 2 件のボルトオン買収を実行\*

- ポーランドの **BGZ** を買収
- **LASER** を完全子会社化

全ての事業部門で営業収益が拡大

とりわけ専門的金融部門、海外リテールバンキング、フィクスト・インカムが増収を後押し

コーポレート・センターを除く事業部門のみの営業収益：前年同期比 **+2.6%\*\***

営業総利益も増加

前年同期比 **+4.2%**

リスク費用は当四半期に減少

前年同期比 **-9.2%**

株主帰属純利益

15 億ユーロ（前年同期比 **+10.6%**）

盤石なバランスシート：資産査定（**AQR**）の結果、資産の健全性を確認

バーゼル 3 基準エクイティ Tier 1 比率：**10.1%\*\*\***  
(AQR の結果を反映後)

\* DAB バンク買収の実施は、2014 年第 4 四半期中を予定（規制当局による承認を必要とする）；

\*\* 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く； \*\*\* 2014 年 9 月末現在、資本要求指令 4（CRD4）全面適用



2014年10月30日にBNPパリバ取締役会が開催され、ボードゥアン・プロ会長が議長を務めるなか、当グループの2014年度第3四半期の業績が検討されました。

## 業容の多様化および地域分散化が寄与し業績は全般的に極めて好調

BNPパリバグループは、業容の多様化および地域分散化の恩恵を受けて、当四半期に全体として極めて良好な業績を収めました。販売およびマーケティング活動が好調であり、引続き金融機関、事業法人、および個人顧客層の取引行であることが確認されました。また、当四半期に2件のボルトオン買収を行いました。すなわち、LaSerの未保有株50%を取得するとともに、ポーランドではBGZ（食糧経済銀行）を買収しました。

当四半期の営業収益は95億3700万ユーロに上り、前年同期比3.9%の増収を果たしました。一時項目は、自己負債の再評価に関わる修正額（OCA: Own Credit Adjustment）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（DVA: Debt Value Adjustment）を反映して、当四半期に-1億9700万ユーロとなりました（前年同期は-1億3800万ユーロ）。これら一時項目を除き、また連結範囲変更および為替レート変動による影響を排除すると、当四半期の営業収益は前年同期比2.8%の増収となりました。

営業収益は全ての事業部門で増加しましたが、とりわけ専門的金融部門、海外リテールバンキング業務およびフィクスド・インカム業務が増収を後押ししました。事業部門合計の営業収益は、当四半期に前年同期比2.6%<sup>1</sup>増加しました。これを部門別にみると、リテールバンキング事業<sup>2</sup>で2.8%<sup>1</sup>増加し、インベストメント・ソリューションズ事業で5.2%<sup>1</sup>増加し、そしてコーポレートバンキング・投資銀行事業（CIB）では2.9%<sup>1</sup>の増加となりました。

営業費用は当四半期に66億2300万ユーロに上り、前年同期比3.8%増加しました。当四半期の営業費用には、Simple & Efficient計画に関わる一過性の変革費用1億4800万ユーロが含まれています（前年同期は1億4500万ユーロ）。

事業部門合計の営業費用は、前年同期比2.6%<sup>1</sup>増加しました。事業開発計画に関わる継続的な投資による費用の増加は、Simple & Efficientの効果により抑制されました。部門別では、営業費用はリテールバンキング事業<sup>2</sup>で1.3%<sup>1</sup>増加し、インベストメント・ソリューションズ事業では4.3%<sup>1</sup>増加し、そしてCIBでは4.8%<sup>1</sup>増加しました。

営業総利益は当四半期に前年同期比4.2%増加し、29億1400万ユーロとなりました。また、事業部門合計では2.5%<sup>1</sup>の増加でした。

グループのリスク費用は当四半期に9.2%減少し、7億5400万ユーロとなりました（融資残高の47bpに相当）。これはグループの確かなリスク管理能力を反映するものです。

これを受けて、当四半期の税引前利益は23億800万ユーロとなり（前年同期は21億2000万ユーロ）、前年同期比8.9%の増加でした。

以上から、当四半期の株主帰属純利益は15億200万ユーロに上りました（前年同期は13億5800万ユーロ）。一時項目の影響を除くと、当四半期の株主帰属純利益は17億3000万ユーロとなり、前年同期比12.5%の増益となりました。

\*  
\* \*

<sup>1</sup> 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

<sup>2</sup> 国内市場部門、バンクウェストおよびTEBのプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）。



2014年10月26日に、欧州中央銀行（ECB）が、ユーロ圏の130の主要銀行グループに関わる包括的審査の結果を公表しました。包括的審査には、綿密な検査により行われた銀行の資産査定（AQR: Asset Quality Review）および、欧州銀行監督局（EBA）との堅密な連携により実施されたストレステストが含まれています。

一連の作業は、その範囲や実施に要した期間の観点から、過去に例のない規模のものでした。BNPパリバは3億7000万に及ぶデータ要素を提供し、またECBは1年近くをかけて、50%以上の信用リスクおよび市場リスクのリスク加重資産を審査しました。

BNPパリバグループのエクイティ Tier 1 比率に対する AQR 関連の修正による影響は、2013年12月末現在で僅少なものでした：修正により同比率が15bp低下しましたが、うち8bpは、2014年6月末に公表されたエクイティ Tier 1 比率に既に反映されています。これはBNPパリバが、欧州屈指の金融機関の一角を成していることを示すものです。資産査定の結果は、バーゼル3基準全面適用による2014年9月末現在のエクイティ Tier 1 比率<sup>1</sup>に反映されており、同比率は10.1%となりました。

ストレステストの結果はまた、マクロ経済および市場環境の変化について極めて厳しい状況を想定しても、グループが深刻なストレスシナリオに耐えうることを示しています。

従って、ECB および EBA が実施した審査結果により、グループの盤石な財務体質、保有資産の健全性、および厳格なリスク管理方針が確認されたと言えます。

バーゼル3基準全面適用のレバレッジ比率<sup>2</sup>は、2014年9月末現在で3.5%<sup>3</sup>に達しています。また、グループの即時利用可能な余剰資金は2680億ユーロに上っており（2014年6月末現在は2440億ユーロ）、これは短期資金調達との関係で1年以上の余裕資金があることを意味します。

さらに、グループは引き続きコンプライアンスおよび統制手続きを強化しています：米司法当局との包括的和解の一環として合意された是正計画を実施中であり、また内部統制システムの強化を押し進めています。

\*  
\* \*

2014年度第3四半期累計期間（1-9月）において、グループの業績には、米司法当局との包括的和解に関わる一時費用として、総額59億5000万ユーロの影響が含まれています。全ての一時項目の影響を除くと、株主帰属純利益は52億6500万ユーロに上りました。

当第3四半期累計期間の営業収益は290億1800万ユーロとなり、前年同期と比べて0.3%の増収でした。なお、当第3四半期累計期間の営業収益には、-3億1300万ユーロの一時項目が含まれているのに対し、前年同期の一時項目は、+1億6100万ユーロに上りました。一時項目を除き、また連結範囲変更および為替レート変動による影響を排除すると、当第3四半期累計期間の営業収益は前年同期比2.7%の増収でした（事業部門合計では+2.1%の増収）。

営業費用は、当第3四半期累計期間に前年同期比2.2%増加し、195億2200万ユーロとなりました。営業費用の増加率は、一時項目を除き、また連結範囲変更および為替レート変動による影響を排除すると、+2.3%でした（事業部門合計では+2.7%）。

<sup>1</sup> 経過措置なしで全ての資本要求指令4（CRD4）を考慮した比率。

<sup>2</sup> 2014年10月10日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき、経過措置なしで全ての資本要求指令4（CRD4）を考慮した比率。

<sup>3</sup> 今後 Tier 1 資本として算入不能になる項目を、算入可能な項目に置き換えて算定。



営業総利益は、当第3四半期累計期間に94億9600万ユーロとなり、前年同期比3.5%の減少でしたが、一時項目を除き、また連結範囲変更および為替レート変動による影響を排除すると、+3.6%でした（事業部門合計では+1.0%）。

リスク費用は、当第3四半期累計期間に26億9300万ユーロとなり、前年同期から3.3%減少しました。

これらを受けて、当第3四半期累計期間の税引前利益は12億5500万ユーロとなりました（前年同期は74億7800万ユーロ）。一時項目を除き、また連結範囲変更および為替レート変動による影響を排除すると、当第3四半期累計期間の税引前利益は前年同期比7.7%増加しました。

以上から、BNPパリバは当第3四半期累計期間に、株主帰属純損失-11億4700万ユーロを計上しました（前年同期は47億800万ユーロの純利益）。なお、一時項目の影響を除くと、当第3四半期累計期間の株主帰属純利益は52億6500万ユーロに上り、前年同期比12.4%の増益となりました。株主資本利益率<sup>1</sup>（ROE）は、米司法当局との包括的和解に関わる費用の最終的な影響を除くと、年率換算で8.0%となりました。

\*  
\* \*

## リテールバンキング事業

### 国内市場部門

国内市場部門の預金残高は、当四半期に前年同期比2.8%増加しましたが、なかでもフランス、ベルギーおよびドイツのコータル・コンソースが好調な伸びを示しました。融資残高は、借入需要がほぼ横ばいとなったことから、当四半期に-0.2%と若干の減少でした。国内市場部門の販売およびマーケティング活動の成果は、フランス、ベルギーおよびイタリアにおいてキャッシュマネジメント業務で上位を占めたことに現れています（出所：2014年ユーロマネー）。国内市場部門はまた、全支店網にわたり、違いのあるフォーマットの導入や、支店を訪れた顧客がこれまでにない経験をするような工夫を凝らすことにより、店舗のレイアウトを刷新しました。

当四半期の営業収益<sup>2</sup>は39億2300万ユーロに上り、前年同期比0.9%の増収でした。アルバルおよびリーシング・ソリューションズの高い伸びを、長引く低金利環境の影響が一部打ち消す格好となりました。営業費用<sup>2</sup>は、コスト抑制努力が奏功し25億800万ユーロとなり、前年同期からほぼ横ばいでした（前年同期比+0.1%の増加）。これを受けて国内市場部門で0.8ポイントの正のジョーズ効果が生み出され、引き続き業務効率が改善しました。

営業総利益<sup>2</sup>は当四半期に14億1500万ユーロに上り、前年同期比2.2%増加しました。

以上から、イタリアにおけるリスク費用の上昇を考慮し、またプライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を国内市場部門からインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、当四半期の税引前利益<sup>3</sup>は8億6200万ユーロとなり、前年同期比4.0%の減益でした。

<sup>1</sup> OCA/DVA による影響は年率換算せず、また、米司法当局との包括的和解に関わる費用の影響を排除するために、純利益を修正して算定。

<sup>2</sup> フランス（PEL/CELの影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの100%を含む。

<sup>3</sup> PEL/CELの影響を除く。



2014 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益<sup>1</sup>は 117 億 5900 万ユーロに上り、前年同期比 1.1%の増収となりました。これにはベルギー国内リテールバンキング、アルバル、およびリーシング・ソリューションズの好業績が貢献し、長引く低金利環境の影響を打ち消しました。営業費用<sup>1</sup>は当第 3 四半期累計期間に 73 億 7800 万ユーロとなり、前年同期から安定推移したことにより、国内市場部門で生み出された 1.1 ポイントのジョーズ効果に貢献しました。その結果、営業収益対コスト比率<sup>1</sup>がフランス、イタリア、およびベルギーで改善し、国内市場部門全体で 62.7%へと低下しました（前年同期から-0.8 ポイントの改善）。営業総利益<sup>1</sup>は当第 3 四半期累計期間に 43 億 8100 万ユーロとなり、前年同期比 3.1%増加しました。以上から、イタリアにおけるリスク費用の上昇を考慮し、またプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を、国内市場部門からインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、当第 3 四半期累計期間の税引前利益<sup>2</sup>は 26 億 2400 万ユーロとなり、前年同期比 6.8%の減益となりました。

### フランス国内リテールバンキング（FRB）

フランス国内リテールバンキング（FRB）部門は、活気を欠く市場環境にありながらも粘り強さを発揮しました。FRB の積極的な業務活動の成果は預金残高の 3.0%の伸びに現れており、とりわけ当座預金が高い伸びを示しました。一方、融資残高は全体として 0.8%減少しましたが、それでも法人客の運転資金の融資が 4.7%伸びたことにより、法人向け貸付が若干増加しました。FRB による当四半期の販売およびマーケティング努力は、スタートアップ起業家と革新的な企業を結ぶことによって起業を支援するための、Innov&Connect 計画を導入したことに反映されています。広範な拠点網（230 か所のセンター）を伴うユニークな体制のおかげで、プライベート・バンキング部門は好業績を収め、当四半期に運用資産残高が前年同期から 4.7%増加しました。

営業収益<sup>3</sup>は当四半期に 17 億 700 万ユーロとなり、前年同期比 2.2%の減収でした。純利息収入は、長引く低金利環境の影響で 2.1%減少したことに加え、手数料収入は、2014 年 1 月 1 日以降、フランス銀行法の下、特定の処理に関わる手数料に上限が課されたことが特に影響し、2.4%減少しました。

業務効率改善策が引き続き奏功し、当四半期の営業費用<sup>3</sup>は前年同期比 1.3%減少しました。

これにより営業総利益<sup>3</sup>は当四半期に 5 億 6000 万ユーロとなり、前年同期比 4.1%の減少でした。

当四半期のリスク費用<sup>3</sup>は前年同期比 5.6%減少し、融資残高の 24bp 相当で、依然として低い水準でした。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、FRB の税引前利益<sup>2</sup>は当四半期に 4 億 4100 万ユーロとなり、前年同期比 4.1%の減益でした。

2014 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益<sup>3</sup>は前年同期比 0.7%の減収となりました。純利息収入が+0.3%と若干増加した一方で、特定の処理に関わる手数料の低下で手数料収入が全体として 2.2%減少したことが響きました。業務効率の継続的な改善のおかげで、営業費用<sup>3</sup>が 1.0%減少しました。これを受けて営業総利益<sup>3</sup>の減少幅が 0.3%に抑えられ、営業費用対コスト比率<sup>3</sup>は 64.6%へと改善しました。当第 3 四半期累計期間のリスク費用<sup>3</sup>は、1 件の特定の債権の影響で、前年同期と比べて 3900 万ユーロ増加しましたが、それでも依然として低水準に留まりました。

<sup>1</sup> フランス（PEL/CEL の影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

<sup>2</sup> PEL/CEL の影響を除く。

<sup>3</sup> PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、FRBの税引前利益<sup>1</sup>は当第3四半期累計期間に14億1200ユーロとなり、前年同期比3.5%の減益でした。

### BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) は、当四半期も引き続き、ビジネスモデルを経済環境に適応させるための調整を行いました。融資残高は、全体で前年同期比1.8%減少しました。法人客および小規模事業者セグメントで引き続き借入需要が局地的に低迷した一方で、個人向け貸出の伸びがこれを一部補ったかたちです。預金残高は、前年同期比9.3%減少しました。その要因として、特に法人客セグメントの最もコストの高い預金を集中的に減少させたことがあります。生命保険およびミューチュアルファンド部門では高い資金流入を受けて、当四半期末の残高は前年同期比18.2%の増加を果たしました。プライベート・バンキング部門では、活発な販売およびマーケティング活動を通して、運用資産残高が前年同期比5.6%増加しました。

営業収益<sup>2</sup>は当四半期に若干減少し（前年同期比-0.4%）、7億9000万ユーロとなりました。純利息収入は、預金の構造変化によるプラス効果のおかげで、前年同期比0.9%増加しました。手数料収入は、オフバランス貯蓄商品が好調であったものの、融資に関わる手数料の低下で、当四半期は3.1%減少しました。

営業費用<sup>2</sup>は、業務効率改善策が奏功し、前年同期比0.7%減少し4億3200万ユーロとなりました。

これを受けて営業総利益<sup>2</sup>は3億5800万ユーロに上り、前年同期からはほぼ横ばいでした。

リスク費用<sup>2</sup>は、イタリアでの厳しい経済環境が影響し、当四半期に融資残高の178bp相当となり、前年同期と比べて6100万ユーロ増加しました。ただし当四半期のリスク費用は、2014年度上半期の水準から安定推移しました。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、BNL bcの税引前利益は、当四半期に前年同期比95.5%の減益となりました。

2014年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益<sup>2</sup>は前年同期から安定推移しました。純利息収入は、預金の構造変化によるプラス効果を、融資残高減少によるマイナス要因が一部打ち消したものの、当第3四半期累計期間に1.1%増加しました。手数料収入は、オフバランス貯蓄商品の健闘にも関わらず、融資に関わる手数料の低下が響いて2.4%の減少となりました。営業費用<sup>2</sup>は、コスト削減策が奏功し、前年同期比0.8%減少しました。これを受けて営業費用対コスト比率<sup>2</sup>は0.5ポイント低下し、53.8%へと改善しました。ただし、リスク費用<sup>2</sup>が前年同期比22.6%増加したため、税引前利益は、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、当第3四半期累計期間に2000万ユーロとなり、前年同期と比べて90.7%の減益でした。

### ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

ベルギー国内リテールバンキング (BRB) の預金残高は、とりわけ当座預金および普通預金の高い伸びが牽引し、当四半期に5.1%増加しました。融資残高は当四半期に1.5%増加しましたが、これには特に個人向け貸出が伸びたことに加え、中小企業 (SME) 向け融資が底堅く推移したことが寄与しました。ファクタリング部門では、活発な業務展開を押し進めた結果、当四半期の残高は前年同期比9.9%増加しました。

<sup>1</sup> PEL/CEL の影響を除く。

<sup>2</sup> イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む。



当四半期の営業収益<sup>1</sup>は、前年同期比 3.7%増加して 8 億 4700 万ユーロに上りました。純利息収入は、融資残高の増加を受けて増収となり、また、手数料収入は、とりわけ金融商品に関わる手数料の伸びに押されて増加しました。

営業費用<sup>1</sup>は、当四半期に前年同期比 1.7%増加しました。Bank for the Future 計画に沿うかたちで業務効率が改善したものの、システミックリスク税の引き上げが深刻な影響を及ぼしました。

当四半期の営業総利益<sup>1</sup>は、+9.3%と前年同期から高い伸びを示し、2 億 3500 万ユーロに上りました。

リスク費用<sup>1</sup>は、融資残高の 16bp 相当で当四半期も低水準を維持し、前年同期から 600 万ユーロの増加に留まりました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、BRB の税引前利益は 1 億 8700 万ユーロに上り、前年同期比 7.5%の増益を果たしました。これは BRB の業績が極めて順調であることを反映しています。

2014 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月) において、営業収益<sup>1</sup>は前年同期比 2.9%<sup>2</sup>の増収となりました。これには、融資残高の増加を受けて純利息収入が 2.8%<sup>2</sup>増加したことに加え、手数料収入が特に融資に関わる手数料の伸びに押されて 3.4%<sup>2</sup>増加したことが貢献しています。営業費用<sup>1</sup>の増加は 0.8%<sup>2</sup>に留まり、システミックリスク税の影響が大きかったにも関わらず、コスト抑制努力が奏功していることが証明されました。これを受けて 2.1 ポイント<sup>2</sup>の正のジョーズ効果が生み出され、営業収益対コスト比率<sup>1</sup>は 72.5%へと改善しました。営業総利益<sup>1</sup>は、当第 3 四半期累計期間に前年同期比 8.9%<sup>2</sup>増加しました。リスク費用<sup>1</sup>は前年同期と比べて 900 万ユーロ増加しました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、BRB の税引前利益は当第 3 四半期累計期間に 5 億 4400 万ユーロに上り、前年同期比 7.7%の増益を果たしました。

### その他国内市場部門 (アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテールバンキング)

国内市場部門の専門的金融業務は、積極的な活動を展開しました。アルバルでは、ファイナンス・フリートが前年同期比 3.7%<sup>3</sup>増加し、連結ベースのリース資産残高は 5.9%<sup>3</sup>の伸びを示しました。リーシング・ソリューションズでは、ノンコア資産の継続的な削減にも関わらず、リース残高は当四半期に 1.3%<sup>3</sup>増加しました。さらに、個人投資家部門では、ドイツでの新規顧客の順調な増加が貢献し、預金残高が+17.6%と高い伸びを示したことに加え、運用パフォーマンス効果および営業活動が奏功し、運用資産残高が当四半期に 10.6%増加しました。

ルクセンブルク国内リテールバンキングでは、住宅ローンの高い伸びに支えられて、融資残高が前年同期比 1.3%増加しました。預金残高は、キャッシュマネジメント業務の開発に伴い法人客セグメントで高い資金流入があったことから、当四半期に 3.1%増加しました。

営業収益<sup>4</sup>は前年同期比 8.6%の増収となり、5 億 7900 万ユーロに上りました。アルバルの営業収益は、事業活動の発展および中古車価格の上昇に支えられて、当四半期に急増しました。リーシング・ソリューションズでは、リース資産の増加に加え、取引の収益性を重視する選択的な方針の結果、当四半期に増収を果たしました。

営業費用<sup>4</sup>は、事業活動の発展に伴い前年同期比 3.6%増加し、3 億 1700 万ユーロとなりましたが、増加幅が抑えられたことから、5.0 ポイントの大幅なジョーズ効果が生み出されました。

<sup>1</sup> ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

<sup>2</sup> 連結範囲変更による影響を除く。

<sup>3</sup> 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

<sup>4</sup> ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



当四半期のリスク費用<sup>1</sup>は、前年同期と比べて 1100 万ユーロの減少でした。

全体では、これら 4 つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、前年同期比+16.7%と急増し、2 億 3100 万ユーロに上りました。

2014 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月) において、営業収益<sup>1</sup> は、アルバルおよびリーシング・ソリューションズの高い伸びが牽引し、前年同期比 5.6%の増収により 17 億 500 万ユーロとなりました。営業費用<sup>1</sup> は、事業活動の発展に伴い前年同期比 2.4%増加し、9 億 4400 万ユーロとなった一方、営業収益対コスト比率は、1.7 ポイントの低下により 55.4%へと改善しました。リスク費用<sup>1</sup> は、前年同期比-1.1%と若干の減少でした。全体では、関連会社からの収益の減少も影響し、これら 4 つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、6 億 4800 万ユーロに上り、前年同期比 2.7%増加しました。

\*  
\* \*

## 欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門は、当四半期にポーランドで BGZ (食糧経済銀行) の買収を実行しました。この取引により、BNP Paribas Bank Polska およびグループの専門的金融業務との連携で、ポーランドにおいてリファレンス・バンクとして 4%を越す市場シェアを獲得することが可能になります。

欧州・地中海沿岸諸国部門は、当四半期に極めて活発な業務活動を展開しました。預金残高は全体で前年同期比 10.1%<sup>2</sup> 増加しましたが、トルコの力強い伸びを始めとし、ほとんどの国で増加傾向が続きました。融資残高は、前年同期比 12.2%<sup>2</sup> の増加を果たしました。

当四半期の営業収益<sup>3</sup>は 5 億 4300 万ユーロに上り、前年同期比 22.8%<sup>2</sup> の大幅増収となりました。取引量の増加が特に後押しし、全ての地域で増収を果たしましたが、なかでもトルコの営業収益は急増しました。

営業費用<sup>3</sup> は、前年同期比 7.1%<sup>2</sup> 増加して 3 億 5500 万ユーロとなりました。これには特にトルコおよびモロッコで実施された支店網の拡充が影響していました (2013 年 9 月末以来、トルコおよびモロッコで、それぞれ 13 店舗および 17 店舗を開設)。

リスク費用<sup>3</sup> は、当四半期に 6600 万ユーロで融資残高の 92bp 相当となり、前年同期と比べて 700 万ユーロ増加しました。

以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に 1 億 4700 万ユーロに上り、前年同期比+98.1%<sup>2</sup> の激増を遂げました。

2014 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月) において、営業収益<sup>3</sup> は前年同期比 7.4%<sup>2</sup> の増収となりました。なお、2013 年第 3 四半期の序盤から、トルコで当座借越しの課金に関する新規制が導入され、またアルジェリアでは為替手数料に関する規制が実施されましたが、これらの影響を除くと、営業収益の増加率は 12.3%<sup>2</sup> となりました。営業費用<sup>3</sup> は、2013 年にトルコおよびモロッコで支店網を拡充したことが特に影響し、当第 3 四半期累計期間に 6.4%<sup>2</sup> 増加しました。

<sup>1</sup> ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

<sup>2</sup> 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

<sup>3</sup> トルコのプライベート・バンキングの 100%を含む。



営業費用対コスト比率<sup>1</sup>は 70.0%となり、前年同期と比べて 0.7 ポイント<sup>2</sup>改善しました。リスク費用は融資残高の 106bp へと上昇したものの、当第 3 四半期累計期間の税引前利益は 3 億 300 万ユーロとなり、前年同期比 4.0%<sup>2</sup>の増益でした。

## バンクウエスト

バンクウエストは、当四半期に高い事業活動の成果を収めました。預金残高は、当座預金および普通預金の力強い伸びが牽引し、前年同期から 7.3%<sup>2</sup>増加しました。融資残高は、法人向けおよび消費者ローンの需要から、当四半期に 6.6%<sup>2</sup>増加しました。バンクウエストは引き続きプライベート・バンキング業務の開発を押し進めた結果、運用資産残高は 2014 年 9 月末現在で 82 億米ドルに上りました（2013 年 9 月末の水準から 26%増加）。

営業収益<sup>3</sup>は、当四半期に 5 億 6600 万ユーロとなり、前年同期比 1.9%<sup>2</sup>の増加でした。取引量が膨らんだ一方で、不利な金利環境や貸付債権売却益の減少が足を引っ張りました。

当四半期の営業費用<sup>3</sup>は 3 億 5800 万ユーロに上り、前年同期比 2.7%<sup>2</sup>増加しました。その要因として、規制コストが上昇したこと（特に包括的資本分析およびレビュー（CCAR: Comprehensive Capital Analysis and Review）による影響）がありますが、一方、支店網の合理化によるコスト節減効果がこれを一部打ち消しました。

リスク費用<sup>3</sup>は当四半期に特に低い水準となり（融資残高の 6bp 相当）、また、前年同期からの増加額は 600 万ユーロに留まり、ほぼ横ばいでした。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、バンクウエストの税引前利益は当四半期に 2 億 100 万ユーロとなり、前年同期比 2.6%<sup>2</sup>の減益でした。

2014 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益<sup>3</sup>は、不利な金利環境および貸付債権売却益の減少から、前年同期比 0.5%<sup>2</sup>の減収となりました。営業費用<sup>3</sup>は、2013 年後半から規制コストが上昇したことに加え、業務体制の強化に関わる投資が高んだことから、当第 3 四半期累計期間に 3.6%<sup>2</sup>増加しました。その結果、営業収益対コスト比率<sup>3</sup>が 2.5 ポイント<sup>2</sup>上昇し、64.9%へと悪化しました。リスク費用が 500 万ユーロ減少したことを受けて、当第 3 四半期累計期間の税引前利益は 5 億 3500 万ユーロとなり、前年同期比 7.5%<sup>2</sup>の減益でした。

## パーソナル・ファイナンス

ギャラリー・ラファイエットが、業務提携契約に基づき保有していた LaSer 株に対するプットオプションを行使した際、パーソナル・ファイナンスは、2014 年 7 月 25 日にこれを買受け、LaSer に対する保有比率をそれまでの 50%から 100%に引き上げました（なお、LaSer は 4,700 人の従業員を擁し、融資残高は 93 億ユーロに上ります）。これによりパーソナル・ファイナンスは、欧州における特化型事業者として No. 1 の地位を強化しました。当業務部門はまた、南アフリカ共和国における POS クレジットの消費者金融大手である RCS グループの買収を実施しました。これらを受けて、当四半期の融資残高は、前年同期比 23.1%増加しました。なお、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、当四半期の融資残高は前年同期比 2.5%の増加となり、とりわけドイツ、ベルギー、および中欧がこれに貢献しました。

当四半期の営業収益は、前年同期比 18.8%の増収となり、10 億 8300 万ユーロに上りました。連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、事業の成長を反映して、当四半期の営業収益は 2.1%の増収でした。

<sup>1</sup> トルコのプライベート・バンキングの 100%を含む。

<sup>2</sup> 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

<sup>3</sup> 米国プライベート・バンキングの 100%を含む。



営業費用は当四半期に前年同期比 22.3%増加し、5 億 500 万ユーロとなりました。連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、事業開発計画の実施の影響で、当四半期の営業費用は 2.4%増加しました。

当四半期のリスク費用は、前年同期と比べて 2200 万ユーロ増加しました。LaSer の買収による連結範囲変更の影響（3700 万ユーロの増額）を除くと、当四半期のリスク費用は前年同期から 1500 万ユーロ減少し、融資残高の 208bp 相当となりました。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、当四半期に 25.5%の大幅増益となり、3 億 3000 万ユーロに上りました。これには、事業開発努力による成長と、外部的な成長の両方が反映されています。

2014 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益は前年同期比 5.3%の増収となりましたが、とりわけ LaSer の完全子会社化による連結範囲の変更が大きく影響しました。なお、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は、ドイツ、ベルギー、中欧での高い伸びとフランスでの若干の伸びに支えられて、前年同期比 1.4%の増収でした。営業費用は、前年同期比 6.2%増加しました。連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、営業費用は、事業の成長を反映して、1.4%の増加でした。営業収益対コスト比率は 46.9%でした。リスク費用が当第 3 四半期累計期間に 3.4%減少したことから、税引前利益は 8 億 2400 万ユーロに上り、前年同期比 15.4%の増益となりました（連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、11.5%の増益）。

\*  
\* \*

## インベストメント・ソリューションズ事業

当事業部門の運用資産残高<sup>1</sup>は、2014 年 9 月末現在で 9050 億ユーロに上り、2013 年 9 月末の水準から 7.4%増加しました。また運用資産残高は、2014 年 6 月末との比較では 220 億ユーロ増加（+2.5%）しましたが、これには特に以下の 2 つの要因が影響していました。すなわち、ユーロ安を受けて為替効果が+95 億ユーロ発生したことに加え、株式相場および金利動向の有利な展開による運用パフォーマンス効果が+82 億ユーロ生じました。当四半期の純資金流入は 34 億ユーロに上り、とりわけイタリアおよびアジアにおける富裕層向け資産運用業務と保険業務が貢献しました。

2014 年 9 月末現在、インベストメント・ソリューションズ事業の運用資産残高<sup>1</sup>の内訳は、以下のとおりでした：資産運用部門は 3880 億ユーロ；富裕層向け資産運用部門は 2990 億ユーロ；保険部門は 1980 億ユーロ；不動産管理部門は 200 億ユーロ。

さらに、証券管理部門は、当四半期も積極的に事業開発を押し進めました。その成果は、当四半期にカスタディ資産残高が前年同期比 21.2%増加したことに加え、約定件数が 9.4%増加したことに現れています。

インベストメント・ソリューションズ事業の営業収益は、当四半期に 16 億 3800 万ユーロに上り、前年同期比 5.2%<sup>2</sup>の増収となりました。これを部門別にみると以下のようになります。保険部門の営業収益は、アジアおよび中南米を始めとする海外の保障保険が高い伸びを示し、当四半期に 5.9%<sup>2</sup>の増収となりました。富裕層向けおよび資産運用部門の営業収益は、富裕層向け業務で特に国内およびアジアで高いパフォーマンスを上げたことに加え、不動産管理業務も伸びたことから、当四半期に 3.2%<sup>2</sup>の増収となりました。さらに、証券管理部門では、事業の成長に伴い営業収益が 8.0%<sup>2</sup>増加しました。

<sup>1</sup> 外部顧客のためのアドバイザー契約資産および分配金を含む。

<sup>2</sup> 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



インベストメント・ソリューションズ事業の営業費用は、当四半期に 11 億 4600 万ユーロとなり、前年同期比 4.3%<sup>1</sup>増加しました。これを部門別にみると以下ようになります。保険部門では、海外事業の継続的な成長に伴い、営業費用は 5.5%<sup>1</sup>増加しました。富裕層向けおよび資産運用部門では、事業開発投資（富裕層向け業務、および資産運用業務）の影響で 3.3%<sup>1</sup>増加しました。証券管理部門では、事業の成長に伴い営業費用は 4.8%<sup>1</sup>増加しました。

当四半期の営業総利益は 4 億 9200 万ユーロに上り、前年同期比 7.5%<sup>1</sup>増加しました。

以上より、国内市場部門、トルコおよび米国から、プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を配分された後、インベストメント・ソリューションズ事業の税引前利益は、前年同期比 7.6%<sup>1</sup>増加し 5 億 3800 万ユーロに上りました。

2014 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、インベストメント・ソリューションズ事業の営業収益は、前年同期比 4.3%<sup>1</sup>増加しました。その牽引役として、証券管理部門の営業収益が 8.4%<sup>1</sup>増加し、また、保険部門の営業収益が 5.4%<sup>1</sup>増加したことが挙げられます。富裕層向けおよび資産運用部門の営業収益は、当第 3 四半期累計期間に 1.4%<sup>1</sup>増加しました。営業費用は、以下の要因から前年同期比 3.4%<sup>1</sup>増加しました。すなわち、事業の拡大に伴い営業費用は、保険部門で 4.5%<sup>1</sup>増加し、また証券管理部門で 3.5%<sup>1</sup>増加しました。事業開発投資（アジア地域、不動産管理部門）に起因して、富裕層向けおよび資産管理部門で営業費用が 2.9%<sup>1</sup>増加しました。これらを受けて、営業収益対コスト比率は 0.6 ポイント<sup>1</sup>低下し、68.2%へと改善しました。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国から、プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を配分された後、インベストメント・ソリューションズ事業の税引前利益は、当第 3 四半期累計期間に 16 億 8600 万ユーロに上り、前年同期比 6.7%<sup>1</sup>の増益を果たしました。

\*  
\* \*

## コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業は、2014 年第 3 四半期に全般的に好業績を収めました。営業収益は前年同期比 2.9%<sup>1</sup>増加し、21 億 300 万ユーロに上りました。

アドバイザーおよびキャピタル・マーケット業務の営業収益は、当四半期に 13 億 2300 万ユーロに上り、前年同期比 3.1%<sup>1</sup>増加しました。バリュー・アット・リスク（VaR）は、当四半期も極めて低い水準に留まりました（2900 万ユーロ）。

フィクスト・インカム業務の営業収益は、当四半期に 9 億 1100 万ユーロに上りましたが、2013 年度第 3 四半期の比較ベースが低かったこともあり、当四半期は 14.2%<sup>1</sup>の大幅増となりました。当四半期の増収要因として、為替業務および金利市場業務が好調に推移し、クレジット業務の減速を補ったことが挙げられます。フィクスト・インカム部門は、ユーロ建て全社債で第 1 位を維持するとともに、全通貨建て全国際社債で第 9 位につけました。

株式およびアドバイザー業務の営業収益は、当四半期に 4 億 1200 万ユーロとなりましたが、2013 年度第 3 四半期が高い比較ベースであったことに加え、フロー業務が特に減速したことから、前年同期比 15.1%<sup>1</sup>減少しました。ロイヤル・バンク・オブ・スコットランドからデリバティブ・ポートフォリオの移管がありました。これによる影響は限定的でした。企業の合併・買収（M&A）業務および株式発行業務は、大幅な伸びを示しています。

コーポレートバンキング業務の営業収益は、前年同期比 2.7%<sup>1</sup>増加し 7 億 8000 万ユーロとなりました。アジアパシフィック地域で高い成長を遂げ、また北南米でも若干の伸びがあった一方で、欧州ではエネルギーおよびコモディティ分野の減速を受けて、営業収益は軟調でした。融資残高は、当四半期に 1110 億ユーロ

<sup>1</sup> 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



に上り、前年同期比 2.3%<sup>1</sup> 増加しました。これは、アジアおよび北南米で融資残高が増加を維持した一方、欧州では融資残高が前年同期と比べて減少しましたが、それでも前四半期からは安定推移したことによるものです。預金残高は、当四半期に 780 億ユーロに上り、前年同期から 20.0%<sup>1</sup> の大幅増を果たしました。これにはとりわけ、国際キャッシュマネジメント業務の開発が功を奏し、新に複数の大型マンドートを獲得したことが寄与しました。当業務部門は、EMEA（欧州・中東・アフリカ）地域におけるシンジケートローンで No. 1 ブックランナーの地位を確認しました。

CIB の営業費用は当四半期に 15 億 1400 万ユーロとなり、前年同期比 4.8%<sup>1</sup> 増加しました。その要因として、アドバイザーおよびキャピタル・マーケット業務の成長、事業開発投資の継続、および規制コストの上昇が挙げられます。

CIB のリスク費用については、当四半期に純額で 8700 万ユーロの引当金戻入益が計上されました。これに対し、前年同期には純額で 6200 万ユーロの引当金繰入額が計上されました。

以上から、CIB の税引前利益は当四半期に 6 億 7500 万ユーロに上り、前年同期比 23.8%<sup>1</sup> の大幅増益を果たしました。

2014 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、CIB の営業収益は前年同期比 4.2%<sup>2</sup> 増加し、68 億 3800 万ユーロ<sup>3</sup>に上りました。アドバイザーおよびキャピタル・マーケット業務の営業収益は 5.6%<sup>2</sup> 増加しました。これは、株式およびアドバイザー業務の全ての業務セグメントにわたる高い伸び（+16.8%<sup>1</sup>）が牽引したもので、またフィクスト・インカム業務は若干の伸び（+0.6%<sup>2</sup>）で貢献しました。コーポレートバンキング業務の営業収益は、前年同期比 1.6%<sup>1</sup> 増加しました。営業費用は、当第 3 四半期累計期間に 6.3%<sup>1</sup> 増加しました。これには、アドバイザーおよびキャピタル・マーケット業務の成長に伴うコストの増加、事業開発投資の継続による費用、さらには新たな規制に関わる適応費用などが影響しました。リスク費用は当第 3 四半期累計期間に 4900 万ユーロとなり、前年同期の水準（3 億 4800 万ユーロ）から激減しました。以上から、当第 3 四半期累計期間の税引前利益は 19 億 5900 万ユーロに上り、前年同期比 6.0%<sup>1</sup> の増益となりました。

\*  
\* \*

## コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は、当四半期に-1 億 4500 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期の営業収益は-1 億 2500 万ユーロでした。当四半期の営業収益には、特に以下の要因が含まれています：自己負債の再評価に関わる修正額（OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（DVA）が合計で-1 億 9700 万ユーロのマイナス要因（前年同期は-1 億 3800 万ユーロのマイナス要因）；BNP パリバ・プリンシパル・インベストメンツによる高い貢献；および、中央銀行預け金に関わる負担の影響です。

営業費用は、当四半期に 3 億 400 万ユーロとなり、これに対し前年同期は 3 億 1400 万ユーロでした。当四半期の営業費用の主な項目として、Simple & Efficient 計画に関わる変革費用 1 億 4800 万ユーロがありました（前年同期は 1 億 4500 万ユーロ）。

当四半期のリスク費用は僅少でした（前年同期は 1500 万ユーロ）。

営業外損益は、当四半期に 4800 万ユーロの利益となり、これに対し前年同期は 4600 万ユーロの利益でした。

<sup>1</sup> 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

<sup>2</sup> 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除き、また、2014 年第 2 四半期に導入された調達評価調整（FVA: Funding Valuation Adjustment）による影響（-1 億 6600 万ユーロ）を除く。

<sup>3</sup> FVA 導入による影響を除く。



以上から、コーポレート・センターの税引前損失は当四半期に-4 億ユーロとなり、これに対し前年同期は-4 億 800 万ユーロでした。

2014 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、コーポレート・センターの営業収益は+1 億 2100 万ユーロとなり、これに対し前年同期は+2 億 2900 万ユーロでした。当第 3 四半期累計期間の営業収益には、特に以下の要因が含まれています：自己負債の再評価に関わる修正額（OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（DVA）が合計で-4 億 4800 万ユーロのマイナス要因（前年同期は-5700 万ユーロのマイナス要因）；投資有価証券として保有していた株式の一過性の譲渡益+3 億 100 万ユーロ；BNP パリバ・プリンシパル・インベストメンツによる高い貢献；投資ポートフォリオからの収入；および、中央銀行預け金に関わる負担の影響です。なお、前年同期において、コーポレート・センターの営業収益には、+2 億 1800 万ユーロに上るロイヤル・パーク・インベストメンツの資産売却益も含まれていました。

コーポレート・センターの営業費用は、当第 3 四半期累計期間に 8 億 8100 万ユーロとなり、これに対し前年同期は 8 億 3400 万ユーロでした。当第 3 四半期累計期間の営業費用には、Simple & Efficient 計画に関わる変革費用 4 億 8800 万ユーロが含まれていました（前年同期は 3 億 7400 万ユーロ）。

リスク費用は、当第 3 四半期累計期間に 1100 万ユーロとなりました（前年同期は 2200 万ユーロ）。

特定のドル資金決済に関わる協議の末、米司法当局との包括的和解を受けて、グループは当第 3 四半期累計期間に総額 59 億 5000 万ユーロの一時費用を計上しました（内訳は、罰金に充当するために 57 億 5000 万ユーロ、および、是正計画に関わる将来の費用に備えて 2 億ユーロ）。

営業外損益は当第 3 四半期累計期間に 9500 万ユーロの利益となり、これに対し前年同期は-3300 万ユーロの損失でした。なお、前年同期の営業外損益には、BNP パリバ・エジプトの売却に伴い計上された為替差損-3000 万ユーロに加え、関連会社に関わる減損処理による一時的な影響が含まれていました。

以上から、当第 3 四半期累計期間の税引前損失は-66 億 2600 万ユーロとなり、これに対し前年同期は-6 億ユーロでした。

\*  
\* \*

## 財務構造

バーゼル 3 基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率<sup>1</sup>は、2014 年 9 月末現在で 10.1%となりました。当該比率の算定には、資産査定（AQR）の結果に加え、2015 年からの施行が予定されている Prudent Valuation（慎重性に基づく評価）規則の影響を前倒しで織り込んでいます。当四半期末におけるエクイティ Tier 1 比率は、2014 年 6 月末の水準から 10bp の上昇を果たしていました。かかる 10bp の上昇の背景には、以下の主要因がありました；(i) 2014 年度第 3 四半期の留保利益（+20bp）。なお、これには 1 株当たり 1.50 ユーロの年間配当金を考慮済みです；(ii) 当四半期中に実行した企業買収による影響（-25bp）；(iii) 規制変更の織り込み（+10bp）。+10bp のうち、-30bp が Prudent Valuation を前倒しで織り込んだことによる影響であり、また、+40bp が“規制の残余的不確実性に関わるリスク加重資産引当金”<sup>2</sup>を戻入れたことによるものです。

バーゼル 3 基準全面適用のレバレッジ比率<sup>3</sup>（Tier 1 資本<sup>4</sup>全部に基づき算定）は、2014 年 9 月 30 日現在で 3.5%でした。

<sup>1</sup> 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）規則を考慮し算定した比率。また、欧州議会・理事会規則 Regulation No 575/2013 第 26 条第 2 項に従う。

<sup>2</sup> 2014 年 3 月 14 日に公表された「2013 年度修正財務諸表」の添付資料 5 を参照。

<sup>3</sup> 2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき、経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）を考慮した比率。

<sup>4</sup> 今後 Tier 1 資本として算入不能になる項目を、算入可能な項目に置き換えて算定。



即時利用可能な余剰資金は、2014年9月末現在で2680億ユーロに上りました（対して、2014年6月末の水準は2440億ユーロ）。これは短期資金調達との関係で、1年以上の余裕資金があることを意味します。

\*  
\* \*

以上の内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者兼取締役は次のように述べています。

「BNPパリバグループは、業容の多様化と地域分散化の恩恵を受け、当四半期に全般的に極めて良好な業績を収めました。販売およびマーケティングが好調であったことは、金融機関、事業法人および個人のお客様が引き続き弊行を取引行に選んでいただいていることの現れです。

当四半期の業績は、前年同期の水準を大幅に上回りました。営業収益は全ての事業部門で増収を果たし、また、継続的なコスト抑制とリスク費用の低減が、当四半期の業績に貢献しました。

グループは盤石なバランスシートを有しており、資産の健全性は資産査定（AQR）により確認されました。AQRは、欧州中央銀行（ECB）により実施された過去に例のない規模の審査となりました。

グループの全てのチームの貢献によって当四半期の好業績が達成されたことに感謝します。BNPパリバは、世界各国の顧客のニーズに応えながら、実体経済への資金供給で積極的な役割を果たすとともに、未来の銀行としての体制を整えています。」



## 連結損益計算書

	3Q14	3Q13	3Q14 / 3Q13	2Q14	3Q14/ 2Q14	9M14	9M13	9M14 / 9M13
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	9,537	9,179	+3.9%	9,568	-0.3%	29,018	28,940	+0.3%
営業費用および減価償却費	-6,623	-6,383	+3.8%	-6,517	+1.6%	-19,522	-19,104	+2.2%
営業総利益	2,914	2,796	+4.2%	3,051	-4.5%	9,496	9,836	-3.5%
リスク費用	-754	-830	-9.2%	-855	-11.8%	-2,693	-2,785	-3.3%
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	n.s.	-5,950	n.s.	-5,950	0	n.s.
営業利益	2,160	1,966	+9.9%	-3,754	n.s.	853	7,051	-87.9%
関連会社損益	85	141	-39.7%	138	-38.4%	330	283	+16.6%
その他営業外項目	63	13	n.s.	16	n.s.	72	144	-50.0%
営業外損益	148	154	-3.9%	154	-3.9%	402	427	-5.9%
税引前利益	2,308	2,120	+8.9%	-3,600	n.s.	1,255	7,478	-83.2%
法人税	-705	-607	+16.1%	-621	+13.5%	-2,129	-2,192	-2.9%
少数株主帰属純利益	-101	-155	-34.8%	-96	+5.2%	-273	-578	-52.8%
株主帰属純利益	1,502	1,358	+10.6%	-4,317	n.s.	-1,147	4,708	n.s.
営業収益対コスト比率	69.4%	69.5%	-0.1 pt	68.1%	+1.3 pt	67.3%	66.0%	+1.3 pt

2014 年度決算報告との比較可能性を確保するために、TEB (トルコ・エコノミ・バンカシ) グループに対して 2013 年度を通して全部連結を適用していたとみなす、2013 年度の見積財務諸表が作成されています。本資料には、修正再表示された 2013 年度四半期決算報告が含まれています。TEB について、持分法ではなく全部連結を適用することによる相違は、下記の四半期損益計算書で開示されています。

## TEB について持分法から全部連結への変更によるグループの 2013 年度第 3 四半期および 2013 年 1-9 月期業績への影響

	3Q13 修正後 (*) TEB に 持分法を適用	TEB について 持分法から 全部連結への変更 による影響	3Q13 修正後 (*) TEB に 全部連結を適用	9M13 修正後 (*) TEB に 持分法を適用	TEB について 持分法から 全部連結への変更 による影響	9M13 修正後 (*) TEB に 全部連結を適用
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	8,930	249	9,179	28,063	877	28,940
営業費用および減価償却費	-6,230	-153	-6,383	-18,617	-487	-19,104
営業総利益	2,700	96	2,796	9,446	390	9,836
リスク費用	-794	-36	-830	-2,665	-120	-2,785
営業利益	1,906	60	1,966	6,781	270	7,051
関連会社損益	175	-34	141	436	-153	283
その他営業外項目	13	0	13	144	0	144
営業外損益	188	-34	154	580	-153	427
税引前利益	2,094	26	2,120	7,361	117	7,478
法人税	-595	-12	-607	-2,140	-52	-2,192
少数株主帰属純利益	-141	-14	-155	-513	-65	-578
株主帰属純利益	1,358	0	1,358	4,708	0	4,708

(\*) IFRS 第 10 号、IFRS 第 11 号、および改訂 IAS 第 32 号の会計基準の適用により修正再表示済み。

BNP パリバの 2014 年度第 3 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーション資料に含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



### 2014 年度第 3 四半期 - コア事業部門別業績

	リテール バンキング 事業	インベストメ ント・ソリュー ションズ事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ合計	
(単位：百万ユーロ)							
<b>営業収益</b>	<b>5,941</b>	<b>1,638</b>	<b>2,103</b>	<b>9,682</b>	<b>-145</b>	<b>9,537</b>	
	対前年同期比	+3.8%	+6.4%	+2.9%	+4.1%	+16.0%	+3.9%
	対前四半期比	+3.8%	-1.3%	-5.8%	+0.7%	n.s.	-0.3%
営業費用および減価償却費	-3,659	-1,146	-1,514	-6,319	-304	-6,623	
	対前年同期比	+2.7%	+6.3%	+5.9%	+4.1%	-3.2%	+3.8%
	対前四半期比	+4.2%	+3.7%	-2.3%	+2.5%	-13.4%	+1.6%
<b>営業総利益</b>	<b>2,282</b>	<b>492</b>	<b>589</b>	<b>3,363</b>	<b>-449</b>	<b>2,914</b>	
	対前年同期比	+5.6%	+6.7%	-4.1%	+4.0%	+2.3%	+4.2%
	対前四半期比	+3.1%	-11.4%	-13.6%	-2.5%	+12.3%	-4.5%
リスク費用	-839	-3	87	-755	1	-754	
	対前年同期比	+11.3%	n.s.	n.s.	-7.4%	n.s.	-9.2%
	対前四半期比	+2.3%	+0.0%	n.s.	-12.5%	-87.5%	-11.8%
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	0	0	0	
	対前年同期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
	対前四半期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
<b>営業利益</b>	<b>1,443</b>	<b>489</b>	<b>676</b>	<b>2,608</b>	<b>-448</b>	<b>2,160</b>	
	対前年同期比	+2.6%	+5.8%	+22.5%	+7.8%	-1.3%	+9.9%
	対前四半期比	+3.5%	-11.4%	+5.3%	+0.8%	-92.9%	n.s.
関連会社損益	32	48	0	80	5	85	
その他営業外項目	20	1	-1	20	43	63	
<b>税引前利益</b>	<b>1,495</b>	<b>538</b>	<b>675</b>	<b>2,708</b>	<b>-400</b>	<b>2,308</b>	
	対前年同期比	+2.4%	+7.0%	+19.5%	+7.1%	-2.0%	+8.9%
	対前四半期比	+3.6%	-10.8%	+2.1%	+0.0%	-93.7%	n.s.

	リテール バンキング 事業	インベストメ ント・ソリュー ションズ事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ合計	
(単位：百万ユーロ)							
<b>営業収益</b>	<b>5,941</b>	<b>1,638</b>	<b>2,103</b>	<b>9,682</b>	<b>-145</b>	<b>9,537</b>	
	前年同期	5,722	1,539	2,043	9,304	-125	9,179
	前四半期	5,725	1,660	2,232	9,617	-49	9,568
営業費用および減価償却費	-3,659	-1,146	-1,514	-6,319	-304	-6,623	
	前年同期	-3,562	-1,078	-1,429	-6,069	-314	-6,383
	前四半期	-3,511	-1,105	-1,550	-6,166	-351	-6,517
<b>営業総利益</b>	<b>2,282</b>	<b>492</b>	<b>589</b>	<b>3,363</b>	<b>-449</b>	<b>2,914</b>	
	前年同期	2,160	461	614	3,235	-439	2,796
	前四半期	2,214	555	682	3,451	-400	3,051
リスク費用	-839	-3	87	-755	1	-754	
	前年同期	-754	1	-62	-815	-15	-830
	前四半期	-820	-3	-40	-863	8	-855
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	0	0	0	
	前年同期	0	0	0	0	0	0
	前四半期	0	0	0	0	-5,950	-5,950
<b>営業利益</b>	<b>1,443</b>	<b>489</b>	<b>676</b>	<b>2,608</b>	<b>-448</b>	<b>2,160</b>	
	前年同期	1,406	462	552	2,420	-454	1,966
	前四半期	1,394	552	642	2,588	-6,342	-3,754
関連会社損益	32	48	0	80	5	85	
	前年同期	55	40	10	105	36	141
	前四半期	40	50	25	115	23	138
その他営業外項目	20	1	-1	20	43	63	
	前年同期	-1	1	3	3	10	13
	前四半期	9	1	-6	4	12	16
<b>税引前利益</b>	<b>1,495</b>	<b>538</b>	<b>675</b>	<b>2,708</b>	<b>-400</b>	<b>2,308</b>	
	前年同期	1,460	503	565	2,528	-408	2,120
	前四半期	1,443	603	661	2,707	-6,307	-3,600
法人税							-705
少数株主帰属純利益							-101
<b>株主帰属純利益</b>							<b>1,502</b>



## 2014年1-9月期 - コア事業部門別業績

		リテール	インベストメ	コーポレート	事業部門	その他業務	グループ合計
		バンキング	ント・ソリュー	バンキング・			
(単位: 百万ユーロ)		事業	ションズ事業	投資銀行	合計		
<b>営業収益</b>		<b>17,348</b>	<b>4,877</b>	<b>6,672</b>	<b>28,897</b>	<b>121</b>	<b>29,018</b>
	対前年同期比	-0.3%	+4.0%	+0.7%	+0.6%	-47.2%	+0.3%
営業費用および減価償却費		-10,643	-3,326	-4,672	-18,641	-881	-19,522
	対前年同期比	+0.0%	+3.8%	+5.6%	+2.0%	+5.6%	+2.2%
<b>営業総利益</b>		<b>6,705</b>	<b>1,551</b>	<b>2,000</b>	<b>10,256</b>	<b>-760</b>	<b>9,496</b>
	対前年同期比	-0.7%	+4.4%	-9.2%	-1.8%	+25.6%	-3.5%
リスク費用		-2,621	-12	-49	-2,682	-11	-2,693
	対前年同期比	+9.4%	-40.0%	-85.9%	-2.9%	-50.0%	-3.3%
米司法当局との包括的和解に関わる費用		0	0	0	0	-5,950	-5,950
	対前年同期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
<b>営業利益</b>		<b>4,084</b>	<b>1,539</b>	<b>1,951</b>	<b>7,574</b>	<b>-6,721</b>	<b>853</b>
	対前年同期比	-6.3%	+5.0%	+5.2%	-1.4%	n.s.	-87.9%
関連会社損益		120	147	21	288	42	330
その他営業外項目		32	0	-13	19	53	72
<b>税引前利益</b>		<b>4,236</b>	<b>1,686</b>	<b>1,959</b>	<b>7,881</b>	<b>-6,626</b>	<b>1,255</b>
	対前年同期比	-8.9%	+5.2%	+4.0%	-3.2%	n.s.	-83.2%
法人税							-2,129
少数株主帰属純利益							-273
<b>株主帰属純利益</b>							<b>-1,147</b>



## 連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
<b>グループ</b>							
営業収益	9,537	9,568	9,913	9,469	9,179	9,789	9,972
営業費用および減価償却費	-6,623	-6,517	-6,382	-6,864	-6,383	-6,251	-6,470
<b>営業総利益</b>	<b>2,914</b>	<b>3,051</b>	<b>3,531</b>	<b>2,605</b>	<b>2,796</b>	<b>3,538</b>	<b>3,502</b>
リスク費用	-754	-855	-1,084	-1,016	-830	-1,044	-911
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	-5,950	0	-798	0	0	0
<b>営業利益</b>	<b>2,160</b>	<b>-3,754</b>	<b>2,447</b>	<b>791</b>	<b>1,966</b>	<b>2,494</b>	<b>2,591</b>
関連会社損益	85	138	107	78	141	107	35
その他営業外項目	63	16	-7	-108	13	112	19
<b>税引前利益</b>	<b>2,308</b>	<b>-3,600</b>	<b>2,547</b>	<b>761</b>	<b>2,120</b>	<b>2,713</b>	<b>2,645</b>
法人税	-705	-621	-803	-550	-607	-757	-828
少数株主帰属純利益	-101	-96	-76	-101	-155	-191	-232
<b>株主帰属純利益</b>	<b>1,502</b>	<b>-4,317</b>	<b>1,668</b>	<b>110</b>	<b>1,358</b>	<b>1,765</b>	<b>1,585</b>
<b>営業収益対コスト比率</b>	<b>69.4%</b>	<b>68.1%</b>	<b>64.4%</b>	<b>72.5%</b>	<b>69.5%</b>	<b>63.9%</b>	<b>64.9%</b>



(単位：百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
<b>リテールバンキング(国内市場、欧州・地中海沿岸諸国、バンクウエストのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CELの影響を除く</b>							
営業収益	6,115	5,859	5,815	5,783	5,833	5,948	5,912
営業費用および減価償却費	-3,726	-3,577	-3,537	-3,753	-3,626	-3,633	-3,573
営業総利益	2,389	2,282	2,278	2,030	2,207	2,315	2,339
リスク費用	-841	-821	-962	-873	-755	-827	-817
営業利益	1,548	1,461	1,316	1,157	1,452	1,488	1,522
営業外損益	53	49	51	17	55	179	60
税引前利益	1,601	1,510	1,367	1,174	1,507	1,667	1,582
インベストメント・ソリューションズ帰属純利益	-61	-63	-68	-51	-56	-53	-59
リテールバンキング税引前利益	1,540	1,447	1,299	1,123	1,451	1,614	1,523
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	29.6	29.6	29.7	30.1	30.3	30.4	30.4
<b>(単位：百万ユーロ)</b>							
<b>リテールバンキング(国内市場、欧州・地中海沿岸諸国、バンクウエストのプライベート・バンキングの2/3を含む)</b>							
営業収益	5,941	5,725	5,682	5,667	5,722	5,873	5,799
営業費用および減価償却費	-3,659	-3,511	-3,473	-3,686	-3,562	-3,567	-3,512
営業総利益	2,282	2,214	2,209	1,981	2,160	2,306	2,287
リスク費用	-839	-820	-962	-872	-754	-826	-815
営業利益	1,443	1,394	1,247	1,109	1,406	1,480	1,472
営業外損益	52	49	51	18	54	179	60
税引前利益	1,495	1,443	1,298	1,127	1,460	1,659	1,532
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	29.6	29.6	29.7	30.1	30.3	30.4	30.4
<b>(単位：百万ユーロ)</b>							
<b>国内市場(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CELの影響を除く</b>							
営業収益	3,923	3,907	3,929	3,864	3,889	3,878	3,862
営業費用および減価償却費	-2,508	-2,445	-2,425	-2,598	-2,505	-2,460	-2,416
営業総利益	1,415	1,462	1,504	1,266	1,384	1,418	1,446
リスク費用	-493	-506	-569	-525	-442	-460	-421
営業利益	922	956	935	741	942	958	1,025
関連会社損益	-4	-10	7	-2	13	25	19
その他営業外項目	3	1	0	-2	-1	-2	1
税引前利益	921	947	942	737	954	981	1,045
インベストメント・ソリューションズ帰属純利益	-59	-60	-67	-50	-56	-53	-57
国内市場税引前利益	862	887	875	687	898	928	988
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	18.6	18.7	18.8	19.0	19.2	19.3	19.5
<b>(単位：百万ユーロ)</b>							
<b>国内市場(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)</b>							
営業収益	3,758	3,781	3,803	3,755	3,784	3,809	3,756
営業費用および減価償却費	-2,448	-2,384	-2,367	-2,537	-2,447	-2,400	-2,360
営業総利益	1,310	1,397	1,436	1,218	1,337	1,409	1,396
リスク費用	-491	-505	-569	-524	-441	-459	-419
営業利益	819	892	867	694	896	950	977
関連会社損益	-5	-10	7	-1	12	25	19
その他営業外項目	3	1	0	-2	-1	-2	1
税引前利益	817	883	874	691	907	973	997
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	18.6	18.7	18.8	19.0	19.2	19.3	19.5

\* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位: 百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
<b>フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) *</b>							
営業収益	1,662	1,700	1,711	1,698	1,755	1,757	1,712
うち受取利息純額	979	1,031	1,005	1,025	1,055	1,055	1,010
うち手数料	683	669	706	673	700	702	702
営業費用および減価償却費	-1,147	-1,086	-1,078	-1,200	-1,162	-1,097	-1,084
<b>営業総利益</b>	<b>515</b>	<b>614</b>	<b>633</b>	<b>498</b>	<b>593</b>	<b>660</b>	<b>628</b>
リスク費用	-85	-103	-108	-86	-90	-88	-79
<b>営業利益</b>	<b>430</b>	<b>511</b>	<b>525</b>	<b>412</b>	<b>503</b>	<b>572</b>	<b>549</b>
営業外損益	1	1	1	0	1	1	2
<b>税引前利益</b>	<b>431</b>	<b>512</b>	<b>526</b>	<b>412</b>	<b>504</b>	<b>573</b>	<b>551</b>
インベストメント・ソリューションズ帰属純利益	-35	-32	-40	-27	-35	-32	-35
<b>フランス国内リテールバンキング税引前利益</b>	<b>396</b>	<b>480</b>	<b>486</b>	<b>385</b>	<b>469</b>	<b>541</b>	<b>516</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	6.7	6.7	6.8	6.9	7.0	7.0	7.0
<b>フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) * PEL/CEL の影響を除く</b>							
営業収益	1,707	1,704	1,712	1,694	1,746	1,712	1,703
うち受取利息純額	1,024	1,035	1,006	1,021	1,046	1,010	1,001
うち手数料	683	669	706	673	700	702	702
営業費用および減価償却費	-1,147	-1,086	-1,078	-1,200	-1,162	-1,097	-1,084
<b>営業総利益</b>	<b>560</b>	<b>618</b>	<b>634</b>	<b>494</b>	<b>584</b>	<b>615</b>	<b>619</b>
リスク費用	-85	-103	-108	-86	-90	-88	-79
<b>営業利益</b>	<b>475</b>	<b>515</b>	<b>526</b>	<b>408</b>	<b>494</b>	<b>527</b>	<b>540</b>
営業外損益	1	1	1	0	1	1	2
<b>税引前利益</b>	<b>476</b>	<b>516</b>	<b>527</b>	<b>408</b>	<b>495</b>	<b>528</b>	<b>542</b>
インベストメント・ソリューションズ帰属純利益	-35	-32	-40	-27	-35	-32	-35
<b>フランス国内リテールバンキング税引前利益</b>	<b>441</b>	<b>484</b>	<b>487</b>	<b>381</b>	<b>460</b>	<b>496</b>	<b>507</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	6.7	6.7	6.8	6.9	7.0	7.0	7.0
<b>フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)</b>							
営業収益	1,598	1,637	1,642	1,640	1,692	1,695	1,648
営業費用および減価償却費	-1,117	-1,056	-1,049	-1,171	-1,133	-1,067	-1,056
<b>営業総利益</b>	<b>481</b>	<b>581</b>	<b>593</b>	<b>469</b>	<b>559</b>	<b>628</b>	<b>592</b>
リスク費用	-85	-102	-108	-85	-90	-88	-78
<b>営業利益</b>	<b>396</b>	<b>479</b>	<b>485</b>	<b>384</b>	<b>469</b>	<b>540</b>	<b>514</b>
営業外損益	0	1	1	1	0	1	2
<b>税引前利益</b>	<b>396</b>	<b>480</b>	<b>486</b>	<b>385</b>	<b>469</b>	<b>541</b>	<b>516</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	6.7	6.7	6.8	6.9	7.0	7.0	7.0

\* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位: 百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む) *</b>							
営業収益	790	812	819	817	793	811	818
営業費用および減価償却費	-432	-439	-432	-467	-435	-441	-438
営業総利益	358	373	387	350	358	370	380
リスク費用	-348	-364	-364	-327	-287	-295	-296
営業利益	10	9	23	23	71	75	84
営業外損益	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	10	9	23	23	71	75	84
インベストメント・ソリューションズ帰属純利益	-7	-8	-7	-4	-5	-5	-5
<b>BNL bc 税引前利益</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>16</b>	<b>19</b>	<b>66</b>	<b>70</b>	<b>79</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.7	5.8	5.9	6.0	6.1	6.1	6.2
(単位: 百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの2/3を含む)</b>							
営業収益	774	796	805	805	780	799	806
営業費用および減価償却費	-424	-431	-425	-460	-427	-434	-431
営業総利益	350	365	380	345	353	365	375
リスク費用	-347	-364	-364	-326	-287	-295	-296
営業利益	3	1	16	19	66	70	79
営業外損益	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	3	1	16	19	66	70	79
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.7	5.8	5.9	6.0	6.1	6.1	6.2

\* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位: 百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
<b>ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む) *</b>							
営業収益	847	822	841	805	817	805	810
営業費用および減価償却費	-612	-606	-602	-604	-602	-612	-588
<b>営業総利益</b>	<b>235</b>	<b>216</b>	<b>239</b>	<b>201</b>	<b>215</b>	<b>193</b>	<b>222</b>
リスク費用	-36	-15	-52	-48	-30	-43	-21
<b>営業利益</b>	<b>199</b>	<b>201</b>	<b>187</b>	<b>153</b>	<b>185</b>	<b>150</b>	<b>201</b>
関連会社損益	2	2	3	-1	4	10	3
その他営業外項目	3	1	0	0	-1	-3	1
<b>税引前利益</b>	<b>204</b>	<b>204</b>	<b>190</b>	<b>152</b>	<b>188</b>	<b>157</b>	<b>205</b>
インベストメント・ソリューションズ帰属純利益	-17	-18	-19	-19	-14	-15	-16
<b>ベルギー国内リテールバンキング税引前利益</b>	<b>187</b>	<b>186</b>	<b>171</b>	<b>133</b>	<b>174</b>	<b>142</b>	<b>189</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.4
<b>ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)</b>							
営業収益	809	782	802	765	782	767	774
営業費用および減価償却費	-592	-584	-582	-582	-582	-590	-569
<b>営業総利益</b>	<b>217</b>	<b>198</b>	<b>220</b>	<b>183</b>	<b>200</b>	<b>177</b>	<b>205</b>
リスク費用	-35	-15	-52	-49	-29	-42	-20
<b>営業利益</b>	<b>182</b>	<b>183</b>	<b>168</b>	<b>134</b>	<b>171</b>	<b>135</b>	<b>185</b>
関連会社損益	2	2	3	-1	4	10	3
その他営業外項目	3	1	0	0	-1	-3	1
<b>税引前利益</b>	<b>187</b>	<b>186</b>	<b>171</b>	<b>133</b>	<b>174</b>	<b>142</b>	<b>189</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.4
<b>ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む) *</b>							
営業収益	579	569	557	548	533	550	531
営業費用および減価償却費	-317	-314	-313	-327	-306	-310	-306
<b>営業総利益</b>	<b>262</b>	<b>255</b>	<b>244</b>	<b>221</b>	<b>227</b>	<b>240</b>	<b>225</b>
リスク費用	-24	-24	-45	-64	-35	-34	-25
<b>営業利益</b>	<b>238</b>	<b>231</b>	<b>199</b>	<b>157</b>	<b>192</b>	<b>206</b>	<b>200</b>
関連会社損益	-7	-13	3	-1	8	14	14
その他営業外項目	0	0	0	-2	0	1	0
<b>税引前利益</b>	<b>231</b>	<b>218</b>	<b>202</b>	<b>154</b>	<b>200</b>	<b>221</b>	<b>214</b>
インベストメント・ソリューションズ帰属純利益	0	-2	-1	0	-2	-1	-1
<b>その他国内市場部門税引前利益</b>	<b>231</b>	<b>216</b>	<b>201</b>	<b>154</b>	<b>198</b>	<b>220</b>	<b>213</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	2.7	2.7	2.7	2.8	2.8	2.9	2.9
<b>ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む)</b>							
営業収益	577	566	554	545	530	548	528
営業費用および減価償却費	-315	-313	-311	-324	-305	-309	-304
<b>営業総利益</b>	<b>262</b>	<b>253</b>	<b>243</b>	<b>221</b>	<b>225</b>	<b>239</b>	<b>224</b>
リスク費用	-24	-24	-45	-64	-35	-34	-25
<b>営業利益</b>	<b>238</b>	<b>229</b>	<b>198</b>	<b>157</b>	<b>190</b>	<b>205</b>	<b>199</b>
関連会社損益	-7	-13	3	-1	8	14	14
その他営業外項目	0	0	0	-2	0	1	0
<b>税引前利益</b>	<b>231</b>	<b>216</b>	<b>201</b>	<b>154</b>	<b>198</b>	<b>220</b>	<b>213</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	2.7	2.7	2.7	2.8	2.8	2.9	2.9

\* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位: 百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
<b>パーソナル・ファイナンス</b>							
営業収益	1,083	926	921	911	912	941	929
営業費用および減価償却費	-505	-442	-428	-446	-413	-446	-436
営業総利益	578	484	493	465	499	495	493
リスク費用	-276	-249	-277	-268	-254	-293	-283
営業利益	302	235	216	197	245	202	210
関連会社損益	13	22	15	9	19	17	18
その他営業外項目	15	6	0	-11	-1	3	1
税引前利益	330	263	231	195	263	222	229
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
<b>欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの100%を含む)*</b>							
(単位: 百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
営業収益	543	489	451	476	476	572	562
営業費用および減価償却費	-355	-348	-335	-364	-359	-381	-375
営業総利益	188	141	116	112	117	191	187
リスク費用	-66	-50	-105	-64	-59	-62	-87
営業利益	122	91	11	48	58	129	100
関連会社損益	24	28	26	21	24	25	19
その他営業外項目	1	1	0	1	0	110	-1
税引前利益	147	120	37	70	82	264	118
インベストメント・ソリューションズ帰属純利益	0	-1	0	1	0	1	-2
欧州・地中海沿岸諸国税引前利益	147	119	37	71	82	265	116
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.5	3.5	3.5	3.7	3.7	3.8	3.6
<b>欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの2/3を含む)</b>							
(単位: 百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
営業収益	541	487	450	475	475	571	559
営業費用および減価償却費	-353	-347	-334	-362	-358	-379	-374
営業総利益	188	140	116	113	117	192	185
リスク費用	-66	-50	-105	-64	-59	-62	-87
営業利益	122	90	11	49	58	130	98
関連会社損益	24	28	26	21	24	25	19
その他営業外項目	1	1	0	1	0	110	-1
税引前利益	147	119	37	71	82	265	116
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.5	3.5	3.5	3.7	3.7	3.8	3.6
<b>バンクウェスト (米国プライベート・バンキングの100%を含む)*</b>							
(単位: 百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
営業収益	566	537	514	532	556	557	559
営業費用および減価償却費	-358	-342	-349	-345	-349	-346	-346
営業総利益	208	195	165	187	207	211	213
リスク費用	-6	-16	-11	-16	0	-12	-26
営業利益	202	179	154	171	207	199	187
関連会社損益	0	0	0	0	0	0	0
その他営業外項目	1	1	3	1	1	1	3
税引前利益	203	180	157	172	208	200	190
インベストメント・ソリューションズ帰属純利益	-2	-2	-1	-2	0	-1	0
バンクウェスト税引前利益	201	178	156	170	208	199	190
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1
<b>バンクウェスト (米国プライベート・バンキングの2/3を含む)</b>							
(単位: 百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
営業収益	559	531	508	526	551	552	555
営業費用および減価償却費	-353	-338	-344	-341	-344	-342	-342
営業総利益	206	193	164	185	207	210	213
リスク費用	-6	-16	-11	-16	0	-12	-26
営業利益	200	177	153	169	207	198	187
営業外損益	1	1	3	1	1	1	3
税引前利益	201	178	156	170	208	199	190
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1

\* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位：百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
<b>インベストメント・ソリューションズ</b>							
営業収益	1,638	1,660	1,579	1,635	1,539	1,593	1,558
営業費用および減価償却費	-1,146	-1,105	-1,075	-1,181	-1,078	-1,068	-1,058
営業総利益	492	555	504	454	461	525	500
リスク費用	-3	-3	-6	18	1	-14	-7
営業利益	489	552	498	472	462	511	493
関連会社損益	48	50	49	26	40	44	40
その他営業外項目	1	1	-2	-8	1	8	4
税引前利益	538	603	545	490	503	563	537
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	8.4	8.4	8.3	8.1	8.1	8.2	8.2
<b>富裕層向けおよび資産運用</b>							
営業収益	700	710	679	723	665	696	696
営業費用および減価償却費	-549	-529	-518	-563	-525	-518	-513
営業総利益	151	181	161	160	140	178	183
リスク費用	0	-4	-3	3	0	-14	-3
営業利益	151	177	158	163	140	164	180
関連会社損益	11	18	12	15	12	15	13
その他営業外項目	2	1	0	-5	1	6	0
税引前利益	164	196	170	173	153	185	193
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	1.7	1.7	1.7	1.5	1.6	1.6	1.7
<b>保険</b>							
営業収益	541	538	533	571	517	510	538
営業費用および減価償却費	-270	-267	-253	-307	-257	-255	-257
営業総利益	271	271	280	264	260	255	281
リスク費用	-4	0	-3	5	1	0	-4
営業利益	267	271	277	269	261	255	277
関連会社損益	38	32	37	11	28	29	28
その他営業外項目	-1	0	-2	-3	0	2	4
税引前利益	304	303	312	277	289	286	309
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	6.2	6.2	6.1	6.0	6.0	6.0	6.0
<b>証券管理</b>							
営業収益	397	412	367	341	357	387	324
営業費用および減価償却費	-327	-309	-304	-311	-296	-295	-288
営業総利益	70	103	63	30	61	92	36
リスク費用	1	1	0	10	0	0	0
営業利益	71	104	63	40	61	92	36
営業外損益	-1	0	0	0	0	0	-1
税引前利益	70	104	63	40	61	92	35
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6



(単位：百万ユーロ)	3Q14	2Q14	1Q14	4Q13	3Q13	2Q13	1Q13
<b>コーポレートバンキング・投資銀行</b>							
営業収益	2,103	2,232	2,337	2,074	2,043	2,114	2,470
営業費用および減価償却費	-1,514	-1,550	-1,608	-1,551	-1,429	-1,405	-1,591
<b>営業総利益</b>	<b>589</b>	<b>682</b>	<b>729</b>	<b>523</b>	<b>614</b>	<b>709</b>	<b>879</b>
リスク費用	87	-40	-96	-167	-62	-206	-80
<b>営業利益</b>	<b>676</b>	<b>642</b>	<b>633</b>	<b>356</b>	<b>552</b>	<b>503</b>	<b>799</b>
関連会社損益	0	25	-4	-3	10	0	16
その他営業外項目	-1	-6	-6	4	3	1	0
<b>税引前利益</b>	<b>675</b>	<b>661</b>	<b>623</b>	<b>357</b>	<b>565</b>	<b>504</b>	<b>815</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	15.3	15.3	15.6	15.5	15.7	15.8	15.6
<b>アドバイザリーおよびキャピタル・マーケット</b>							
営業収益	1,323	1,373	1,580	1,195	1,273	1,267	1,691
営業費用および減価償却費	-1,083	-1,115	-1,185	-1,077	-1,032	-947	-1,180
<b>営業総利益</b>	<b>240</b>	<b>258</b>	<b>395</b>	<b>118</b>	<b>241</b>	<b>320</b>	<b>511</b>
リスク費用	19	11	26	4	15	-83	-14
<b>営業利益</b>	<b>259</b>	<b>269</b>	<b>421</b>	<b>122</b>	<b>256</b>	<b>237</b>	<b>497</b>
関連会社損益	-1	6	8	-5	4	-3	9
その他営業外項目	-1	-6	-6	4	3	1	0
<b>税引前利益</b>	<b>257</b>	<b>269</b>	<b>423</b>	<b>121</b>	<b>263</b>	<b>235</b>	<b>506</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	7.8	7.8	8.0	8.1	8.2	8.1	7.9
<b>コーポレートバンキング</b>							
営業収益	780	859	757	879	770	847	779
営業費用および減価償却費	-431	-435	-423	-474	-397	-458	-411
<b>営業総利益</b>	<b>349</b>	<b>424</b>	<b>334</b>	<b>405</b>	<b>373</b>	<b>389</b>	<b>368</b>
リスク費用	68	-51	-122	-171	-77	-123	-66
<b>営業利益</b>	<b>417</b>	<b>373</b>	<b>212</b>	<b>234</b>	<b>296</b>	<b>266</b>	<b>302</b>
営業外損益	1	19	-12	2	6	3	7
<b>税引前利益</b>	<b>418</b>	<b>392</b>	<b>200</b>	<b>236</b>	<b>302</b>	<b>269</b>	<b>309</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	7.6	7.5	7.6	7.4	7.5	7.6	7.6
<b>コーポレート・センター</b>							
営業収益	-145	-49	315	93	-125	209	145
営業費用および減価償却費	-304	-351	-226	-446	-314	-211	-309
うち事業再編および変革費用	-154	-207	-142	-287	-145	-74	-155
<b>営業総利益</b>	<b>-449</b>	<b>-400</b>	<b>89</b>	<b>-353</b>	<b>-439</b>	<b>-2</b>	<b>-164</b>
リスク費用	1	8	-20	5	-15	2	-9
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	-5,950	0	-798	0	0	0
<b>営業利益</b>	<b>-448</b>	<b>-6,342</b>	<b>69</b>	<b>-1,146</b>	<b>-454</b>	<b>0</b>	<b>-173</b>
関連会社損益	5	23	14	26	36	-4	-77
その他営業外項目	43	12	-2	-93	10	-9	11
<b>税引前利益</b>	<b>-400</b>	<b>-6,307</b>	<b>81</b>	<b>-1,213</b>	<b>-408</b>	<b>-13</b>	<b>-239</b>



## 連結貸借対照表 — 2014年9月30日現在

(単位: 百万ユーロ)	2014年9月30日	2013年12月31日 修正後*
<b>資産の部</b>		
現金および中央銀行預け金	92,782	100,787
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産		
トレーディング金融資産	218,724	157,735
貸出金およびレボ取引	176,277	152,036
純損益を通じて公正価値で測定する商品	77,256	67,126
デリバティブ金融商品	365,525	305,755
ヘッジ目的デリバティブ	17,666	8,368
売却可能金融資産	240,031	199,056
金融機関貸出金および債権	50,330	57,545
顧客貸出金および債権	647,129	612,455
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整額	5,160	3,568
満期保有目的金融資産	9,269	9,881
当期および繰延税金資産	8,232	8,850
未収収益およびその他の資産	120,470	88,656
保険契約者余剰金	0	0
関連会社に対する投資	7,135	6,561
投資不動産	1,603	2,831
有形固定資産	17,655	16,929
無形固定資産	2,842	2,537
のれん	10,547	9,846
<b>資産合計</b>	<b>2,068,635</b>	<b>1,810,522</b>
<b>負債の部</b>		
中央銀行預金	8,212	662
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債		
トレーディング金融負債	93,301	69,792
借入金およびレボ取引	237,449	202,662
純損益を通じて公正価値で測定する商品	56,987	47,342
デリバティブ金融商品	363,432	301,439
ヘッジ目的デリバティブ	20,741	12,139
金融機関預金	83,472	84,594
顧客預金	616,926	553,497
負債証券	191,533	186,686
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整額	3,975	924
当期および繰延税金負債	3,049	2,477
未払費用およびその他の負債	101,970	78,381
保険会社の責任準備金	171,376	155,226
偶発債務引当金	12,000	11,922
劣後債	12,659	11,824
<b>負債合計</b>	<b>1,977,083</b>	<b>1,719,567</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	82,918	80,672
株主帰属当期純利益	-1,147	4,818
資本金等、利益剰余金、および株主帰属当期純利益合計	81,770	85,490
資本に直接認識される資産および負債の変動	5,818	1,943
<b>株主資本合計</b>	<b>87,588</b>	<b>87,433</b>
少数株主帰属利益剰余金および当期純利益	3,861	3,528
資本に直接認識される資産および負債の変動	104	-6
<b>少数株主持分合計</b>	<b>3,965</b>	<b>3,522</b>
<b>純資産合計</b>	<b>91,552</b>	<b>90,955</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,068,635</b>	<b>1,810,522</b>

\*IFRS第10号、IFRS第11号、および改訂IAS第32号の会計基準の適用により修正再表示済み。



業容の多様化および地域分散化が寄与し業績は全般的に極めて好調.....2

リテールバンキング事業.....4

インベストメント・ソリューションズ事業.....10

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業.....11

コーポレート・センター.....12

財務構造.....13

連結損益計算書.....15

TEBについて持分法から全部連結への変更によるグループの2013年度第3四半期および  
2013年1-9月期業績への影響.....15

2014年度第3四半期 - コア事業部門別業績.....16

2014年1-9月期 - コア事業部門別業績.....17

連結四半期業績の推移.....18

連結貸借対照表 - 2014年9月30日現在.....26

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2014年3月14日に、BNPパリバは、2013年度の四半期決算に関わる修正を発表しました。かかる修正には次の4点が特に反映されています。(i) IFRS第10号「連結財務諸表」、およびIFRS第11号「共同支配の取決め」、ならびに改訂IAS第28号「関連会社及び共同支配企業に対する投資」を適用しました。なお、IFRS第11号の適用により、グループの2013年度株主帰属純利益に対して、1400万ユーロの押し下げ効果が生じています。(ii) 中期事業計画を念頭に置き、2014年1月1日をもって、特定の業務および業績が、グループ内部で移管あるいは振替えられました。(iii) バーゼル3基準の適用により、部門別および業務ライン別の配賦資本の修正がなされました。(iv) 流動性に関わるコストを事業部門へ賦課する慣行を、流動性カバレッジ比率（LCR）のアプローチに沿うように調整しました。さらに、今後の2014年度決算報告との比較可能性を確保するために、TEB（トルコ・エコノミ・バンク）グループに対して2013年度を通して全部連結を適用していたとみなす、2013年度の見積財務諸表が作成されています。これら修正後の決算報告において、2013年度に関わる数値は、あたかも取引が2013年1月1日に実行されたかのように表示されています。本プレゼンテーションは、修正された2013年度の四半期数値に基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNPパリバとその子会社および出資先企業にまつ固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNPパリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNPパリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNPパリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれるBNPパリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNPパリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。